

# 労働

## 賃金

平成29年の常用労働者の1人平均月間現金給与総額(事業所規模30人以上の事業所)は34万9,680円でした。

産業別にみると、電気・ガス・熱供給・水道業が63万3,615円で最も高く、次いで製造業の43万9,579円、学術研究、専門・技術サービス業の43万5,631円の順となっており、宿泊業、飲食サービス業が16万4,955円で最も低くなっています。

図44 産業別1人平均月間現金給与総額(平成29年)

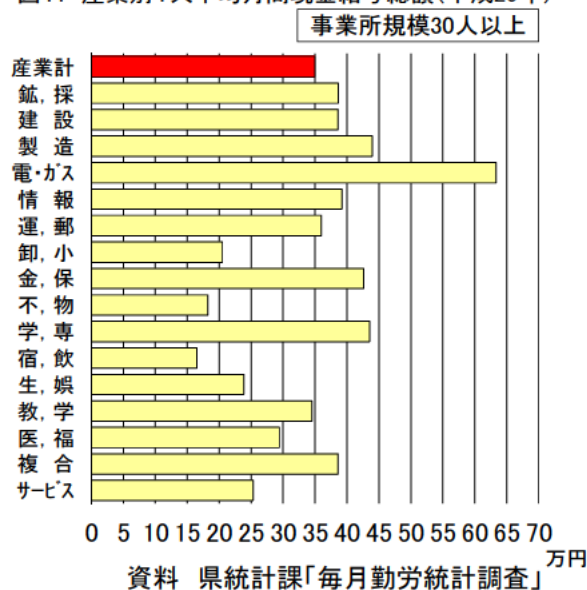
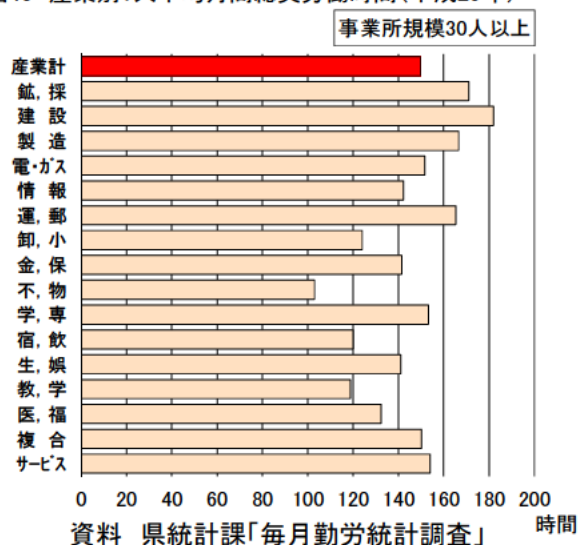


図45 産業別1人平均月間総実労働時間(平成29年)



## 労働時間数

平成29年の常用労働者の1人平均月間総実労働時間数(事業所規模30人以上の事業所)は149.8時間でした。

産業別にみると、建設業が182.1時間で最も長く、次いで鉱業、採石業、砂利採取業の171.2時間、製造業の166.7時間の順になっており、不動産業、物品賃貸業が103.0時間で最も短くなっています。

## 雇用

平成29年度の年度平均月間有効求人数は3万7,843人で、前年度に比べ2,323人(6.5%)増加し、年度平均月間有効求職者数は2万2,948人で、1,620人(6.6%)減少しました。

有効求人数を有効求職者数で割った有効求人倍率は1.65倍で、前年度に比べ0.20ポイント上昇しました。

図46 雇用動向の推移

